

新型コロナウイルスの医療用検査キット使用の注意点

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止を目的に、医療用抗原検査キット（以下「検査キット」という。）の薬局での販売が開始されました。検査キット使用にあたって、いくつか注意する点があります。今回、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会ホームページに一般公開されている検査キットを正しく使用するためのご案内から抜粋してご紹介します。

● 結果が陽性の場合には、速やかに医療機関を受診

体調不良等の症状がある方は、検査キットで確認せず医療機関を受診しましょう。検査キットは、普段と違った体調の異変を感じる場合に使用し、陽性の場合には、速やかに医療機関を受診してください。陰性の場合でも、偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。

● 厚生労働省の承認された検査キットを使用

「医療用（体外診断用医療品）」の検査キットは国の承認を受けており、ある程度の量のウイルスがいれば検査が正しくできることが確認されています。「研究用」の検査キットは国の審査を受けていないので検査が正しく出来るかは確認されていません。研究用の検査キットでは唾液で検査できるものも販売されていますが、医療用では唾液で検査が出来るキットは現時点ではありません。正しい検査をするためには医療用のキットを使うことが重要です。（臨床検査振興協議会ホームページより引用）

● 十分な説明を受け、説明内容を理解して購入する

購入時には理解したことを証明するサインが必要になります。

● 正しい検体採取方法と検査手順で行う

厚生労働省が以下のホームページで公開する WEB 教材を参考にするとともに各製品の添付文書における使用方法や使用するキットを製造するメーカーの提供するパンフレットや動画資料を必ず確認・理解した上で、検査を実施してください。

注意) 検査キットによって、操作方法が異なる場合があります。操作方法をよく理解して実施してください。

☆厚生労働省関連 HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00270.html



一般的な検査手順と留意点

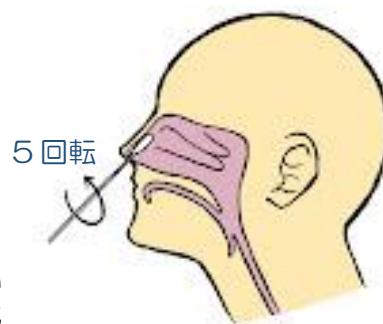
鼻腔ぬぐい液を、自分で採取して検査を行います。

- ① 鼻孔（鼻の穴の入り口）から2cm程度綿棒を挿入する
- ② 綿棒を鼻の内壁に沿わせ5回程度回転させる
- ③ 5秒程度静置し、引き抜く
- ④ 綿棒が十分に湿っていることを確認する

注意点

※同居人等がいる場合は、被検者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等より隔てられた位置に移動して実施します。

※他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また、鼻咽頭（鼻の奥）ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって行います。



● ウイルス量が少ない場合には、陰性になる場合があります

抗原検査はウイルスのタンパク質（抗原）を捕まえる検査のため、ウイルス量が多くなってきた時に検出可能です。（詳細は、「四つ葉のクローバー 第53号」をご参照ください。）

症状がない場合であっても引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。



現在、コロナ検査の検査費用は、発熱の症状や濃厚接触者など医師や保健所が必要と判断した場合は無料ですが、自主検査の場合は今回紹介したコロナ抗原検査の自費購入も含め有料です。

但し、政府は新型コロナウイルス感染の「第6波」対策として、体質などでワクチンを打てない人や感染拡大傾向が認められた地域の無症状者が受ける新型コロナ検査を無料にするため、2021年度補正予算を確保しました。新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は日々変化しています。近況や問い合わせに関しては、群馬県のホームページなどをご確認ください。

☆群馬県ホームページ (<https://www.pref.gunma.jp/>)



「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。

ご参照ください。

ホームページアドレス <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

